

事務事業チェックシート

事務事業No 755 事業名 ふれあい収集事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		塵芥処理事業費	
	大事業		塵芥処理事業	
事項		ふれあい収集事業		

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
基本方針	2	一般廃棄物の適正処理ができる体制の確保

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

[3つの約束・44の約束]との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間			～
事業実施の根拠法令	和歌山市ふれあい収集実施要綱		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	収集センター	中谷 雅 昭 (471-	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	高齢や障害等で自分でごみを出すことが困難な人に対していたわりのある廃棄物行政を行う。	高齢や障害等で、自分でごみを集積場所まで出すことが困難な人を対象に職員が決まった曜日に自宅まで直接ごみを取りに行く。また、希望があれば「声かけ」をおこなす。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		条件を満たし希望される人を対象にふれあい収集を行う。	条件を満たし希望される人を対象にふれあい収集を行う。	条件を満たし希望される人を対象にふれあい収集を行う。	条件を満たし希望される人を対象にふれあい収集を行う。	条件を満たし希望される人を対象にふれあい収集を行う。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,295	753	1,542	453	1,245	1,269	730		730	
伸び率 (%)	-	-	19.1%		-19.3%		-41.4%		0.0%	
人件費	常勤職員	36,253	36,825	36,825	33,899	36,825	32,007	36,825	36,825	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	36,253	36,825	36,825	33,899	36,825	32,007	36,825	36,825	36,825	
国庫支出金	0	0								
県支出金	0	0								
市債	0	0								
その他	0	0								
一般財源 (税等)	1,295	753	1,542	453	1,245	1,269	730		730	
所要人数	常勤職員	4.85	4.85	4.85	4.56	4.85	4.3	4.85	4.85	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	自動車燃料474千円、自動車修繕207千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値								
単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
	年度目標値				年度目標値				
単位	全体目標値		全体目標達成度		実績値				
	年度別達成度				年度目標値				
ふれあい収集実施件数	年度目標値				50	70	90	110	130
	実績値				49	74	121		
単位	件	全体目標値		全体目標達成度					
	年度別達成度				年度目標値				
単位	全体目標値		全体目標達成度		実績値				
	年度別達成度				年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	利用者に対して問題なく事業が遂行された。
「見直し」 「改善」案	広報活動の方法を考え、より多くの方に利用していただきたい。